

2007年3月期中間決算説明会

売上高・営業利益・経常利益とも、半期ベースで過去最高を更新

2006年11月27日

JUKI株式会社

取締役社長 中村 和之

Mind & Technology

JUKI
Mind & Technology

目次

第1部 07/3期(06年度)上期業績

- 1. 07/3期上期業績のポイント 3
- 2. 07/3期上期業績 4
- 3. 主要財務指標推移 6

第3部 07/3期(06年度)業績予想

- 1. 07/3期(06年度)業績予想 25
- 2. セグメント別業績予想 27
- 3. 参考資料 29

第2部 セグメント別業績と事業動向

- 1. セグメント別業績 11
- 2. 工業用マシン事業 13
- 3. 産業機器事業 16
- 4. 家庭用マシン事業 19
- 5. 電子・精密機器事業 22
- 6. その他事業 23

第1部

07/3期(06年度)上期業績

売上高・営業利益・経常利益とも、半期ベースで過去最高を更新

1. 売上高は、産業機器、工業用マシン、電子・精密機器が大幅に増加し、全体で前年同期比+15.5%、737億円を達成
2. 営業利益も、産業機器、工業用マシン、電子・精密機器の大幅増益により、全体で71億円を確保(前年同期比18.9%増、営業利益率9.7%)
経常利益は、財務改善も寄与し、64億円を達成(前年同期比26.9%増、経常利益率8.6%)
3. 営業キャッシュフローは104億円を確保。有利子負債の圧縮が更に進み、残高は415億円まで減少
4. 純資産は302億円(自己資本比率26.0%)を確保
5. 中間配当は予定通り3円/株の実施を決定

05上期に比べ売上、営業利益、経常利益、当期純利益とも 2桁伸展

単位：百万円

	05上期 実績	05下期 実績	06上期 実績	05上期比 増減	05上期比 増減率
売上高	63,798	60,990	73,680	9,882	+15.5%
営業利益	5,995	5,271	7,128	1,133	+18.9%
経常利益	5,012	3,878	6,360	1,348	+26.9%
当期純利益	2,969	2,400	3,501	532	+17.9%

(売上高)

億円

800

700

600

500

400

300

200

100

0

638

60

50

610

53

39

737

71

64

営業利益
経常利益

80

70

60

50

40

30

20

10

0

05上期実績

05下期実績

06上期実績

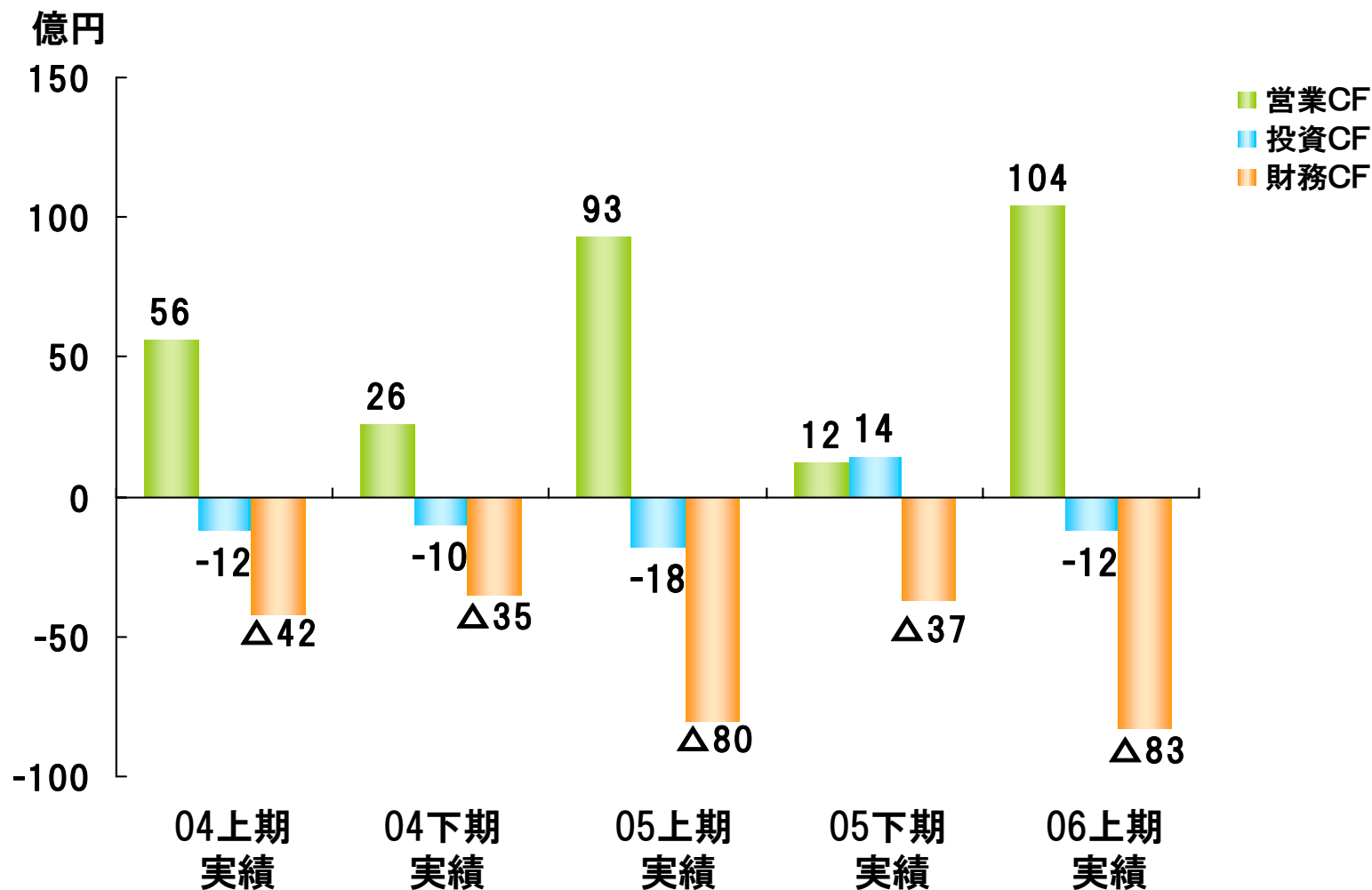
- 売上高
- 営業利益
- 経常利益

有利子負債は75億円減少し、415億円に。純資産は25億円増の302億円に

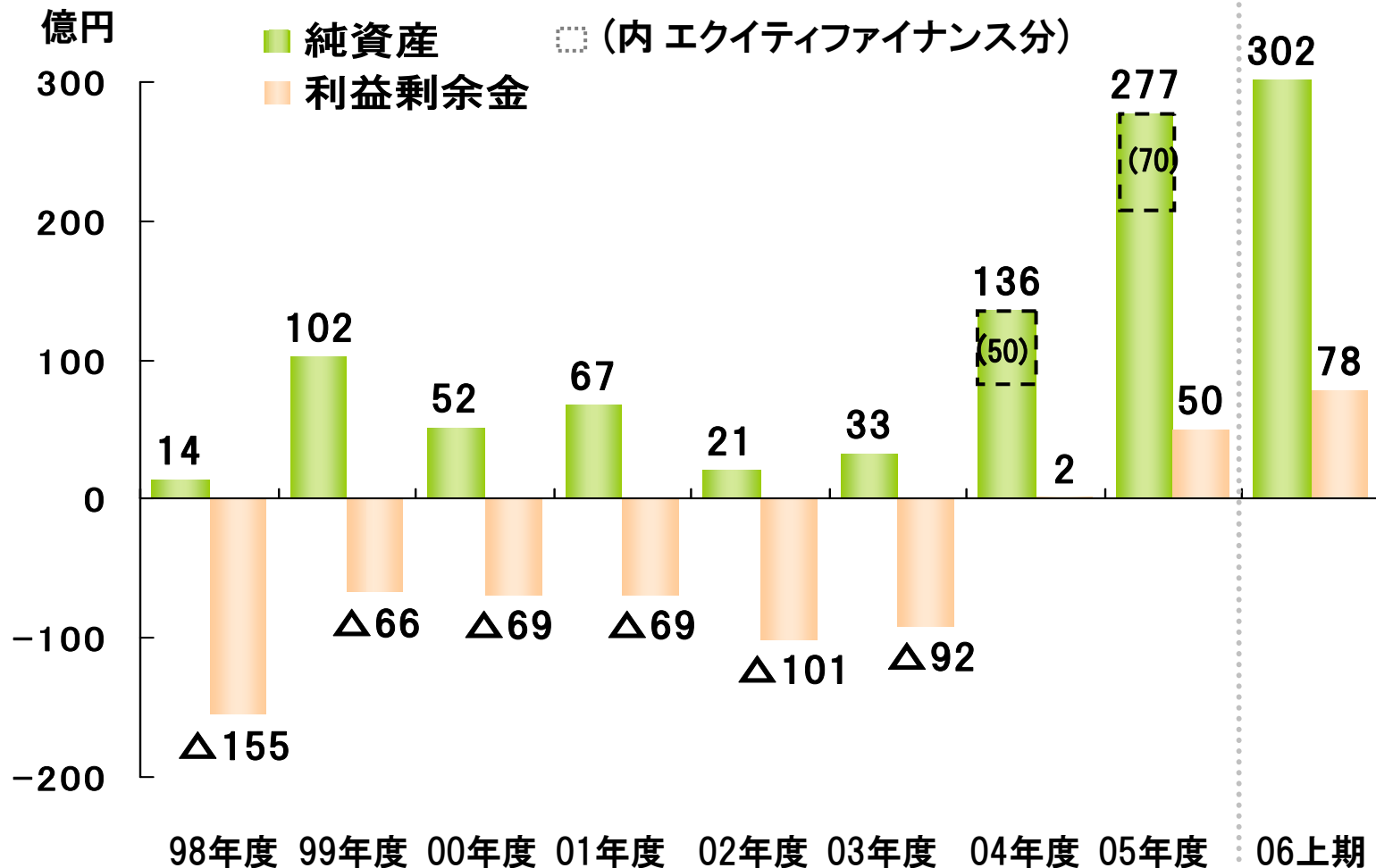
単位：百万円

	04年度 実績	05年度 実績	06年度 上期実績	05年度比 増減	05年度比 増減率
総資産	115,916	113,923	114,908	+984	+0.9%
有利子負債	66,877	48,979	41,480	△7,498	△15.3%
純資産	13,566	27,745	30,229	+2,484	+9.0%
自己資本比率	11.7%	24.4%	26.0%	+1.6%	—
(参考) (現預金)	(11,738)	(10,369)	(11,575)	(1,206)	(+11.6%)

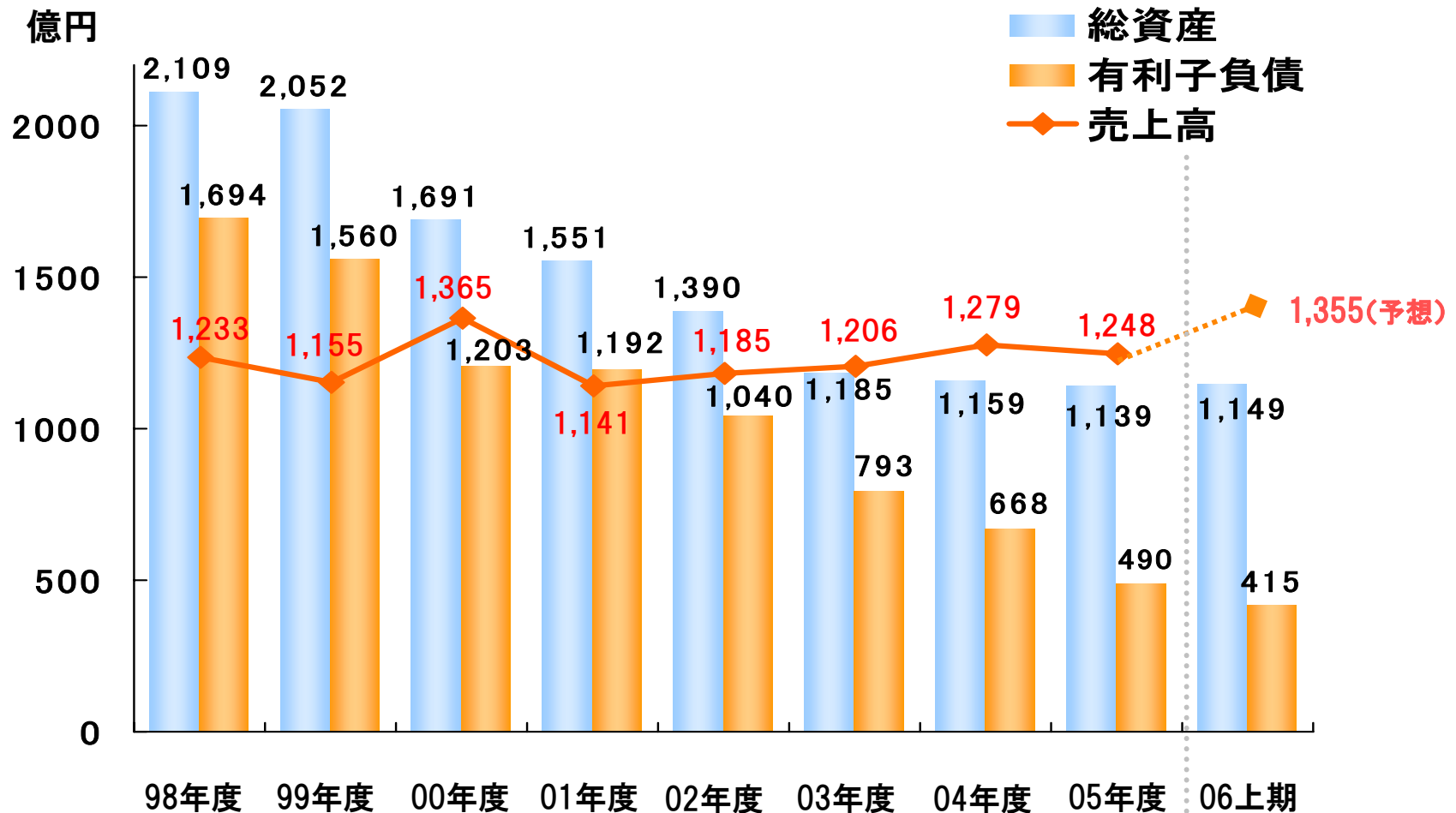
06上期 営業キャッシュフロー104億円を確保



純資産が順調に増加。エクイティファイナンスも寄与



有利子負債はピーク時の1/4以下に減少、財務体質が順調に改善



第2部

セグメント別業績と事業動向

セグメント別売上高推移 05上期・下期比較

訪問販売体制の縮小により、家庭用マシン・その他セグメント(宝飾品・健康商品等)の売上高は減少

単位:百万円

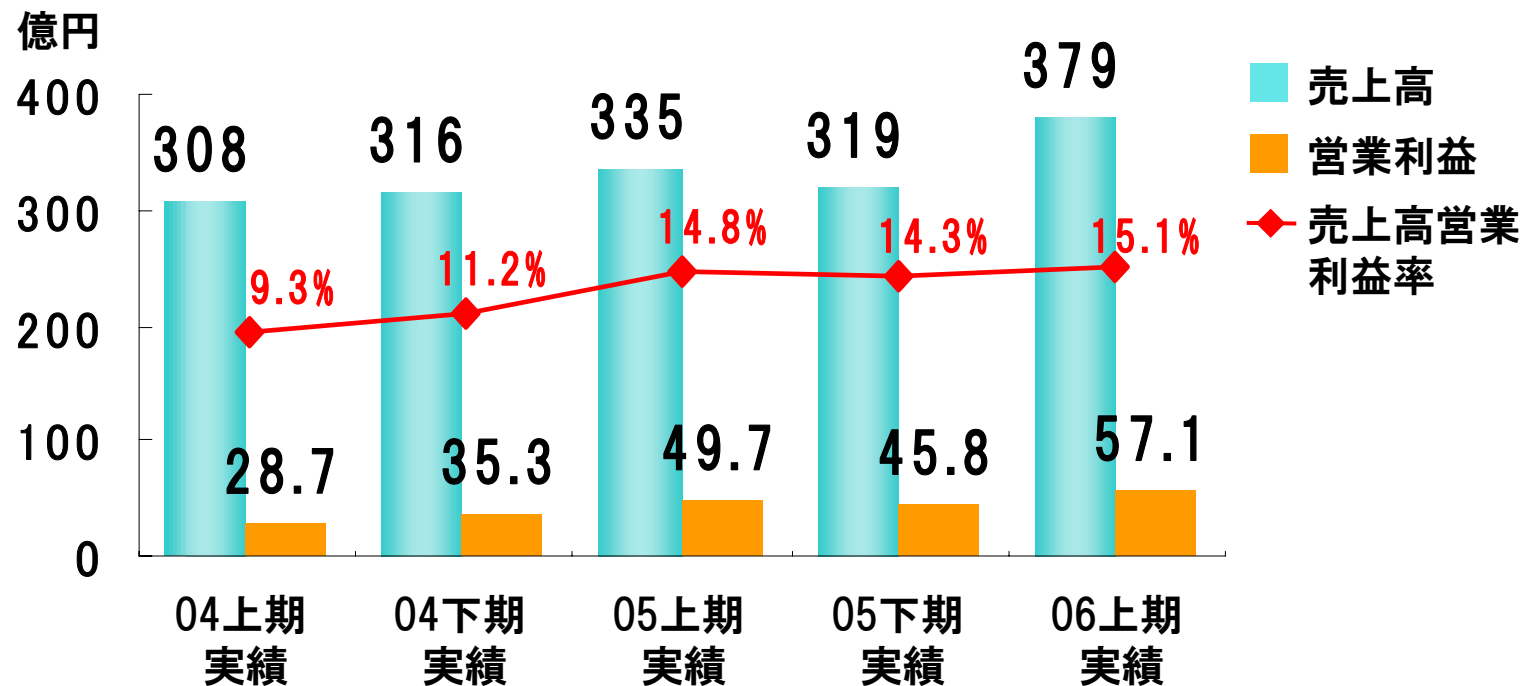
	05上期	05下期	06上期	05上期比 増減	05下期比 増減
工業用マシン	33,542	31,933	37,869	4,327	5,936
産業機器	10,838	10,452	17,145	6,307	6,693
家庭用マシン	5,755	4,755	4,819	△936	64
電子・精密機器	7,116	7,683	8,438	1,322	755
その他	6,544	6,167	5,408	△1,136	△759
売上高合計	63,798	60,990	73,680	9,882	12,690

家庭用マシンは、訪問販売の縮小により販売部門・製造部門とも赤字幅が拡大

単位:百万円

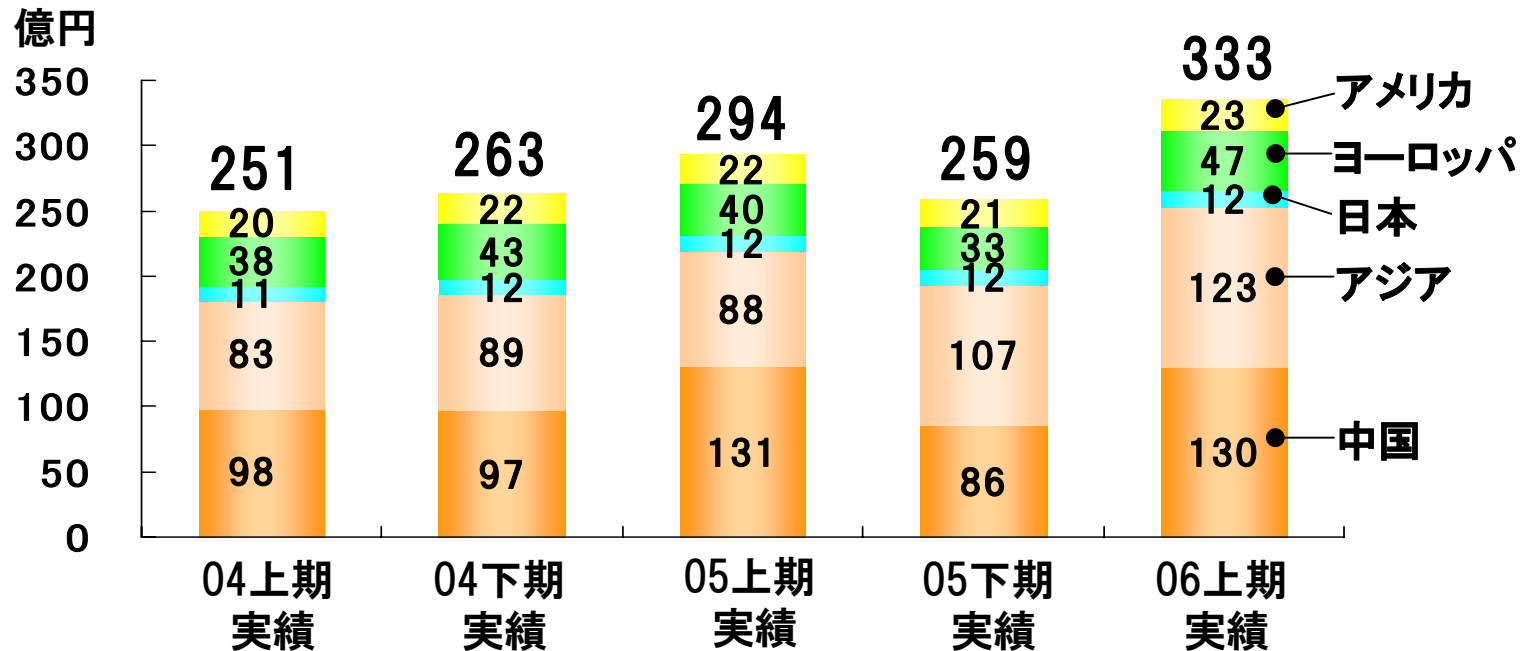
	05上期	05下期	06上期	05上期比 増減	05下期比 増減
工業用マシン	4,972	4,577	5,714	742	1,137
産業機器	452	559	1,735	1,283	1,176
家庭用マシン	119	△195	△513	△633	△318
電子・精密機器	794	938	1,120	326	182
その他	287	△45	77	△209	122
(消去)	△630	△563	△1,005	△375	△442
営業利益合計	5,995	5,271	7,128	1,133	1,857

売上高・営業利益とも着実に拡大



高付加価値商品の販売増加ならびに製造原価の削減等により、営業利益率は15%台を実現

中国、アジアを中心に売上高増加（*売上高は部品等を除く）



中国からの産地移動もありアジア地区が急伸。中国も高付加価値商品の販売を中心に05上期に迫る売上高を計上。欧州は販売体制の再編が寄与し売上高が回復

製品開発を推進し、他社との差別化を強化

自動玉縁縫いミシン

APW-895

(2006年11月1日発売)



スーツ、ジャケット、パンツなどのポケット縫製ミシン。縫い速度を20%高速化。位置決めマーキングライトの自動化による作業性の向上、針幅変更作業時間を短縮化したほか、平均消費電力を6割削減

電子サイクルミシン

AMS-221E

(2006年8月1日発売)



靴やカバンなどの模様縫いミシン。縫い速度の高速化と糸切・送り機構等の改良により縫製時間を24%短縮し生産性を向上。アクティブテンション採用により、高い縫い品質を実現。大型液晶タッチパネルによりデータの設定、変更が簡単

2本針本縫いミシン

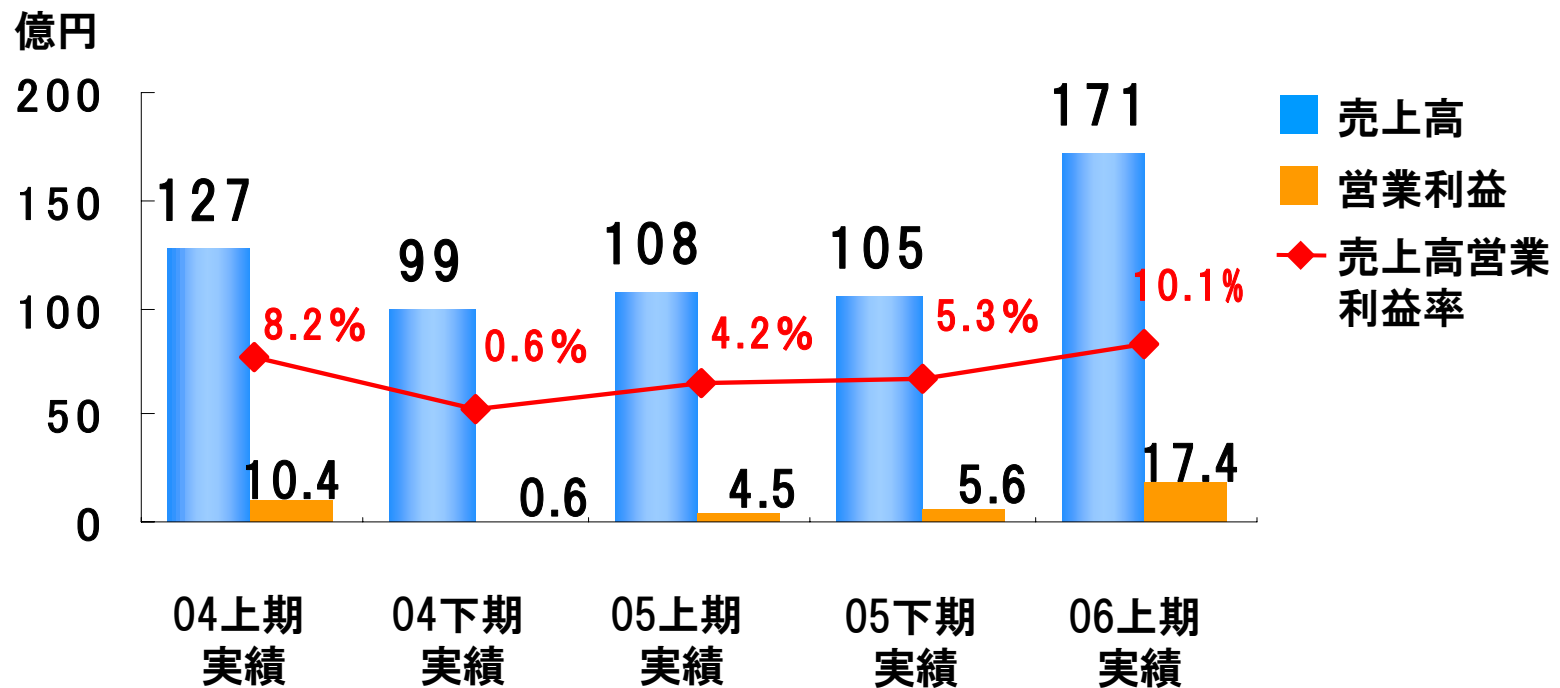
LH-4100

(2006年5月11日発売)



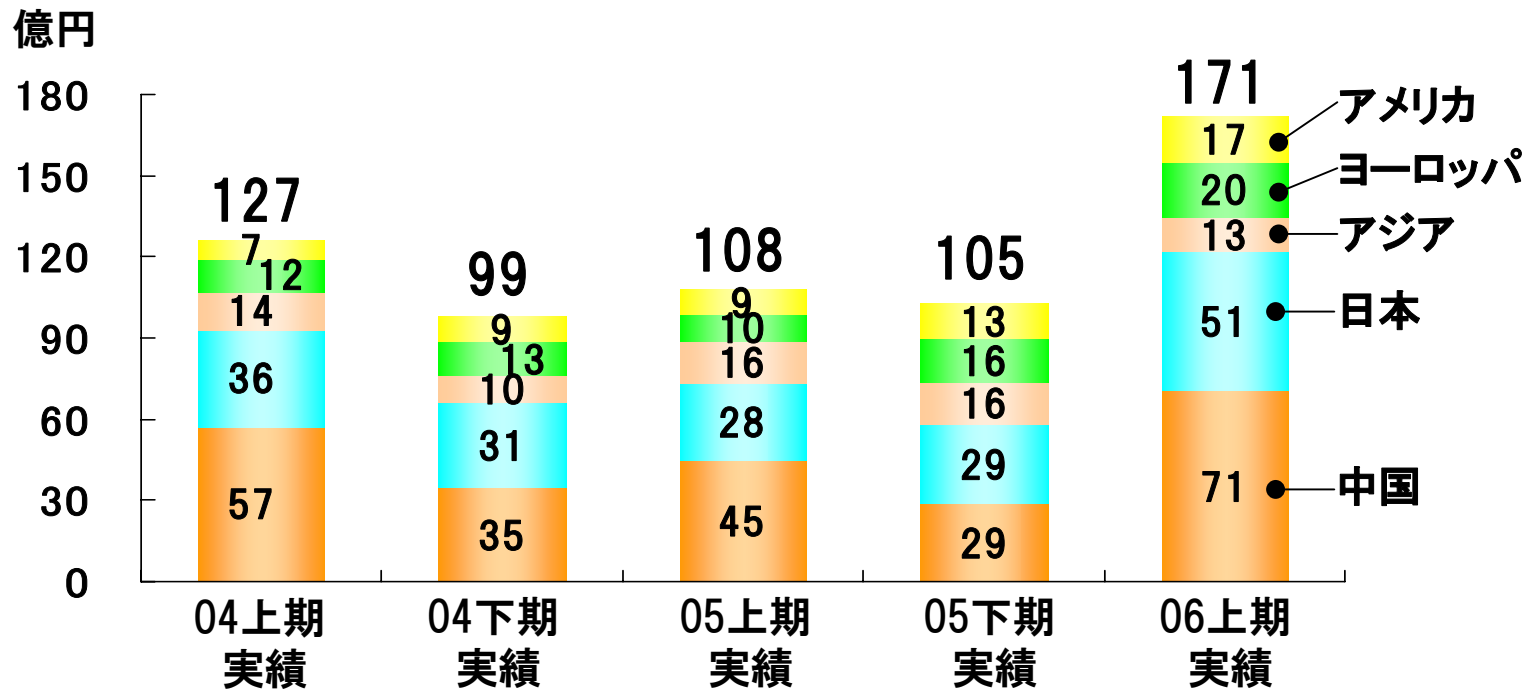
ダイレクトドライブ二本針ミシン。既存モデルから縫い速度を33%高速化し、セミドライヘッドでは最高の4,000rpmを実現。生産性を向上させた他、左右の縫ムラの低減、糸切りの安定化などにより、縫い品質を向上。針幅変更時間を従来に比べ、約半分に短縮

売上高の大幅増加に伴い、営業利益率は10%台に



売上高は前年同期比58.2%増加し、過去最高の実績を達成

中国・日本が大きく伸び、売上高は171億円に



家電・パソコン・ゲーム市場での受注が拡大。ほぼ全地域で増収となったことにより過去最大の売上高を計上

下期発売に向け、新型マウンタを発表



高速チップマウンタ

KE-2070

高速汎用マウンタ

KE-2080

チップ部品搭載速度20%up
(KE-2070、KE-2080)

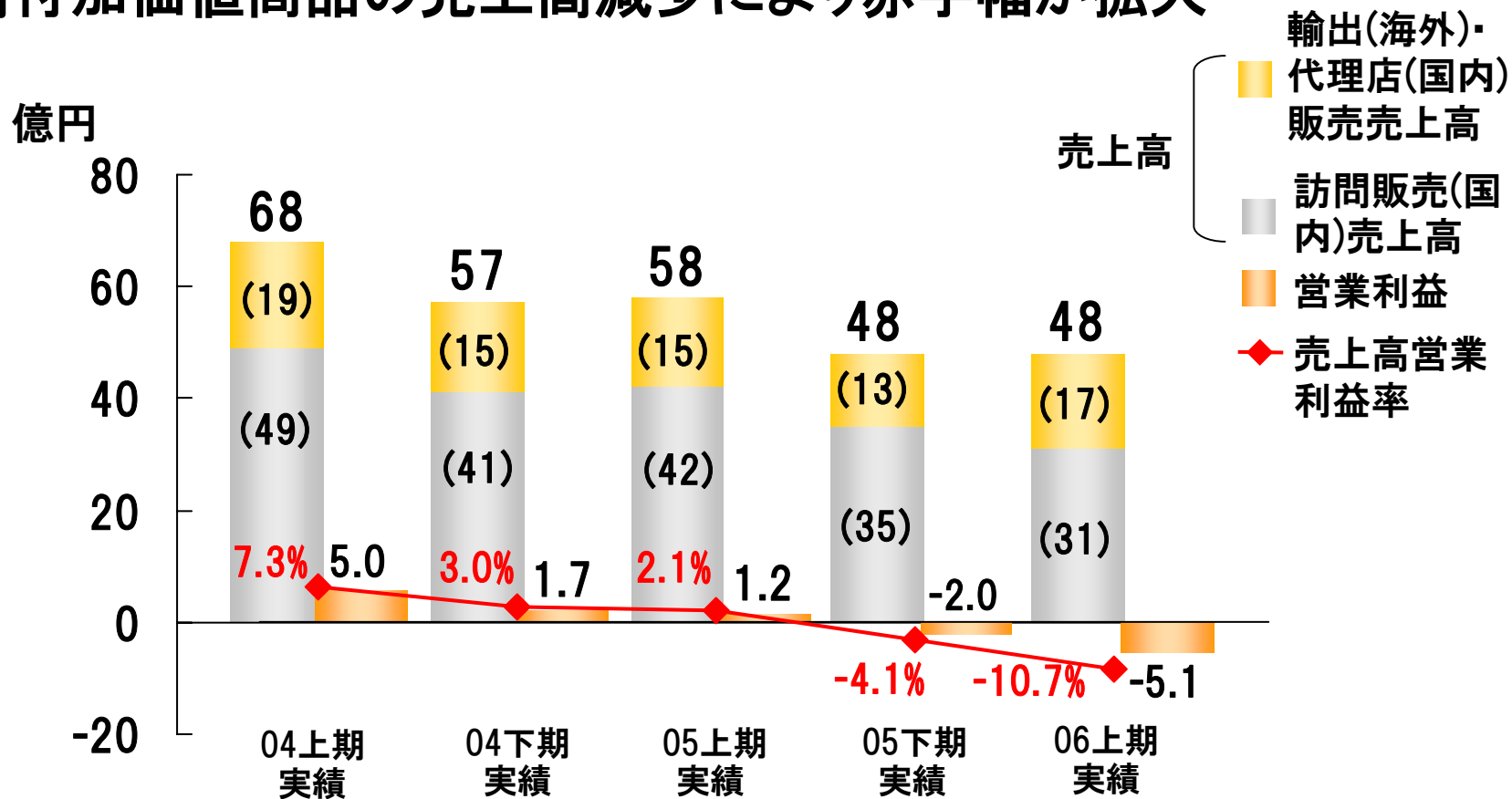
16,000CPH

IC部品搭載速度35%up
(KE-2080)

4,600CPH

最小サイズ(0.2mm×0.4mm)
の部品に対応

高付加価値商品の売上高減少により赤字幅が拡大



訪問販売の売上高減少を、輸出(海外)・代理店(国内)の売上高増加でカバー

商品戦略・生産体制・販売体制等、抜本的な改革を実施中

〈商品群の拡大〉

- 06年下期の発売に向け、中級・低価格帯商品などの開発を推進中

〈国内外生産体制の再編〉

- 06年度下期中の完了を目指して、国内・中国の生産拠点の再編を推進中
(中国工場は中級・低価格帯機種を生産に特化、国内工場は高級機種および一部中級機種を生産)

〈国内訪問販売体制の縮小〉

- 不採算店舗を中心に営業体制を縮小(06年3月末:12事業所、143支店を06年10月初:8事業所、92支店に削減)。直販体制への移行を目指して更なる改革を推進

〈海外販売体制の拡充〉

- 工業用ミシンの販売網を活用して新興市場(特に中国、インド)における販路を拡大

低価格帯の商品開発による品揃えの拡充

フルサイズ電子ミシン

●HXL-501/83
(06年7月3日発売)



27種類の模様を内蔵し、自動ボタン
穴かがりや針自動糸通し等、初心者
から本格層まで満足頂ける機能が
充実

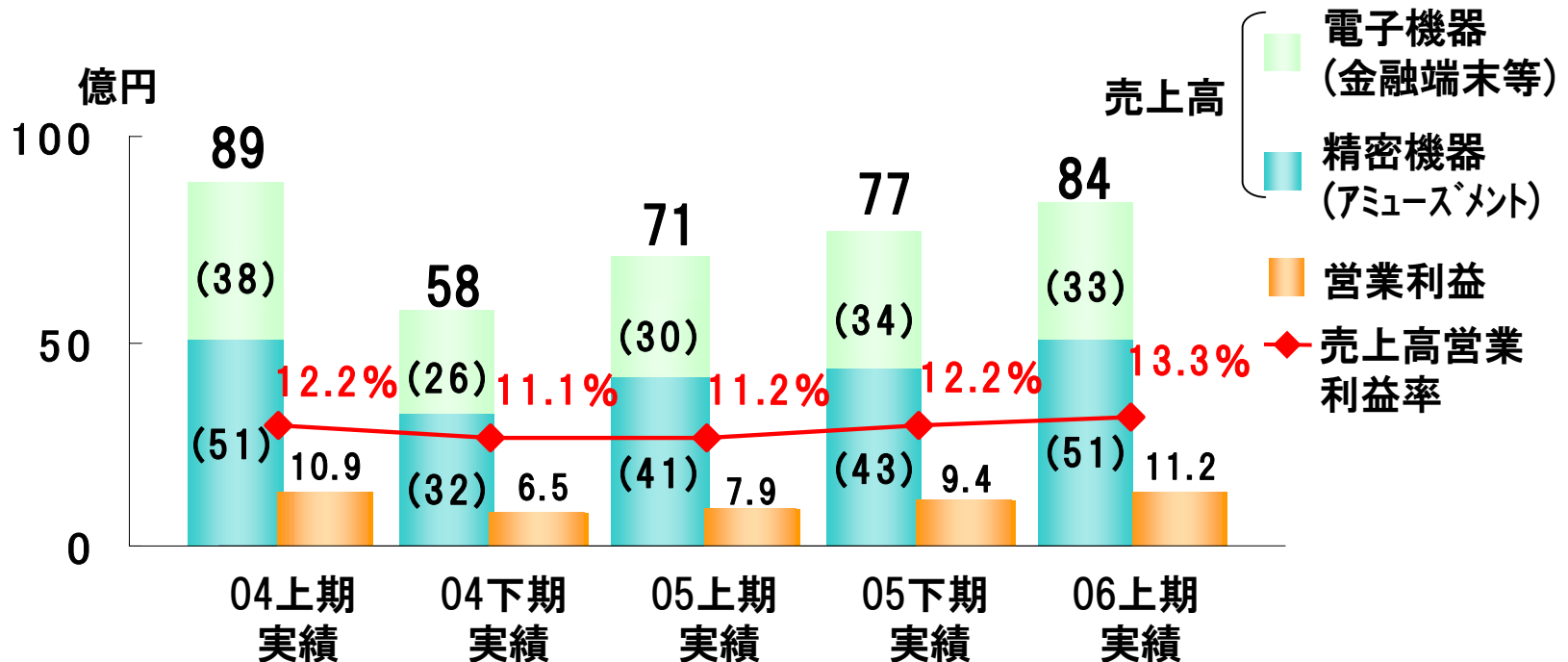
コンパクト電子ミシン

●HXL-24
(06年12月発売予定)



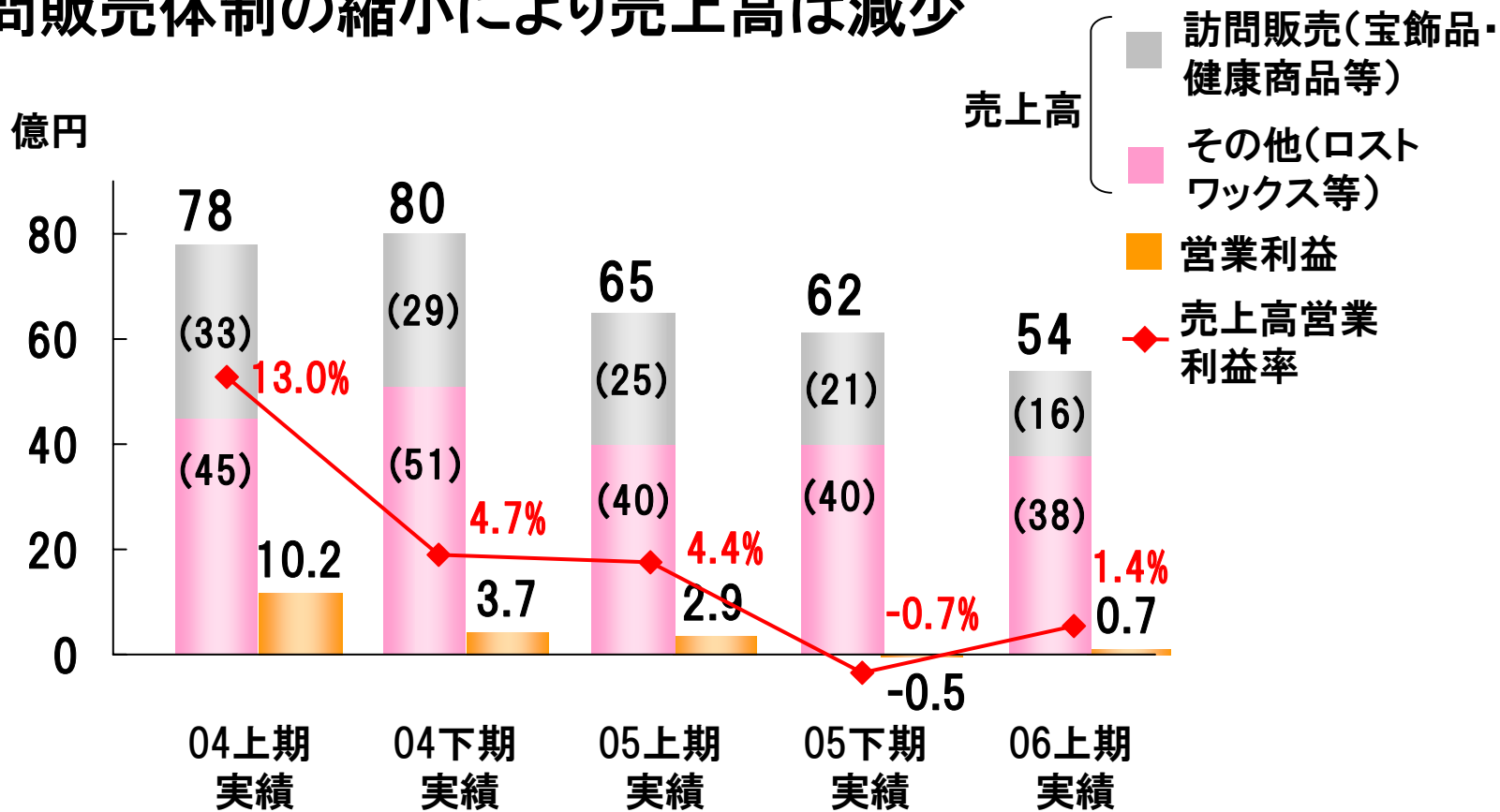
コンパクトながらしっかりボディで
初めての方にも手軽に使える
やさしいミシン

04下期を底に売上高は順調に拡大



精密機器(アミューズメント)の売上高は増加基調にある

訪問販売体制の縮小により売上高は減少



第3部

07/3期(06年度)業績予想

売上高は7/26予想を据え置くものの、利益項目については全てを上方修正。経常利益は中計目標を前倒しで達成見込み

単位:百万円

	7/26 修正予想	今回 修正予想	〔7/26予想比 増減〕	(参考) 中計07年度計画
売上高	135,500	135,500	0	145,000
営業利益	10,200	12,500	2,300	—
経常利益	9,300	10,600	1,300	10,000
当期純利益	5,600	6,000	400	—

売上高は通期で前年より107億円増加。営業利益・経常利益も最高益を大きく更新する見込み

単位:百万円

	05年度 上期実績	05年度 下期実績	05年度 通期実績	06年度 上期実績	06年度 下期予想	06年度 通期予想
売上高 (前年比増減)	63,798	60,990	124,788	73,680 (+9,882)	61,820 (+830)	135,500 (+10,712)
営業利益 (前年比増減)	5,995	5,271	11,266	7,128 (+1,133)	5,372 (+101)	12,500 (+1,234)
経常利益 (前年比増減)	5,012	3,878	8,890	6,360 (+1,348)	4,240 (+362)	10,600 (+1,710)
当期純利益 (前年比増減)	2,969	2,400	5,369	3,501 (+532)	2,499 (+99)	6,000 (+631)
配当	0	6円/株	6円株	3円/株	5円/株	8円/株

* 期末配当は5円/株を実施予定

売上高は、全体として7/26修正予想の水準で推移する見込み

単位:百万円

	7/26 修正予想	今回 修正予想	(7/26予想比) 増減
工業用ミシン	71,500	71,000	△500
産業機器	28,600	29,000	+400
家庭用ミシン	8,900	8,700	△200
電子・精密機器	17,000	16,400	△600
その他	9,500	10,400	+900
売上高合計	135,500	135,500	0

セグメント別 通期営業利益予想(再修正)

営業利益は、7/26予想比23億円増の125億円を確保し、家庭用マシン事業の赤字も縮小する見込み

単位:百万円

	7/26 修正予想	今回 修正予想	(7/26予想比 増減)
工業用マシン	9,200	10,200	+1,000
産業機器	1,600	3,200	+1,600
家庭用マシン	△1,400	△1,000	+400
電子・精密機器	1,400	1,900	+500
その他(消去を含む)	△600	△1,800	△1,200
営業利益合計	10,200	12,500	+2,300

研究開発体制の拡充と業務効率改善のために、新本社ビルの建設を決定

[理由]: 新たな開発領域への進出と開発効率・業務効率の一層の向上を図ることを目的として、研究開発部門(現在賃借りビルに入居)を販売・管理部門と統合する、新しい本社ビルの建設を決定

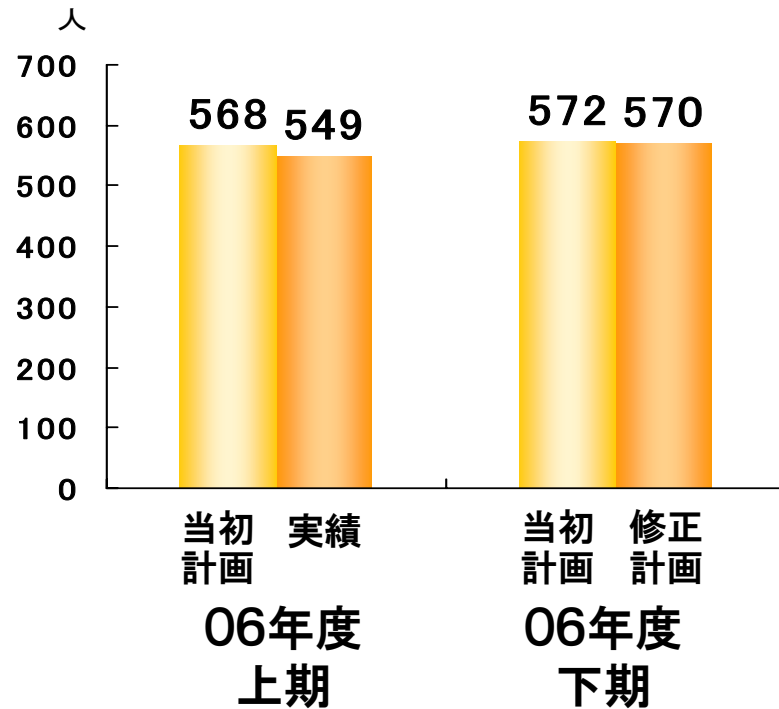
[建設費用]: 土地関連費用	約 30億円(面積11,700㎡)
	(東京都多摩市鶴牧2丁目-11-1)
建物関連費用	約 90億円(延床面積約25,000㎡)
計	約 120億円

[完成予定]: 2009年3月

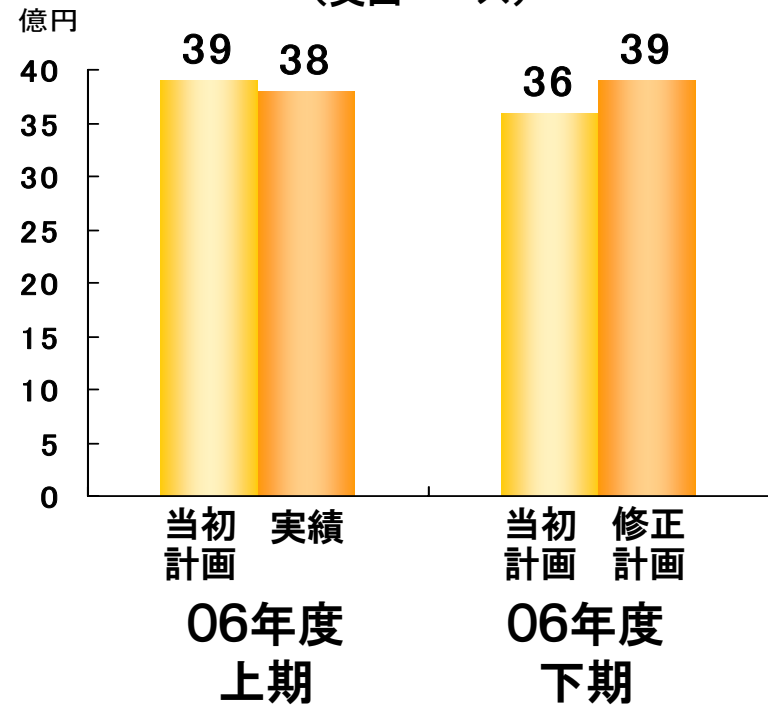


成長に向けて、ほぼ予定通りの開発投資を推進

開発人員



開発投資金額
(支出ベース)



単位:百万円

	05年度 上期実績	05年度 下期実績	05年度 通期実績	06年度 上期実績	06年度 下期予想	06年度 通期予想
工業用マシン (前年比増減)	33,542	31,933	65,475	37,869 (+4,327)	33,131 (+1,198)	71,000 (+5,525)
産業機器 (前年比増減)	10,838	10,452	21,290	17,145 (+6,307)	11,855 (+1,403)	29,000 (+7,710)
家庭用マシン (前年比増減)	5,755	4,755	10,510	4,819 (△936)	3,881 (△874)	8,700 (△1,810)
電子・精密機器 (前年比増減)	7,116	7,683	14,799	8,438 (+1,322)	7,962 (+279)	16,400 (+1,601)
その他 (前年比増減)	6,544	6,167	12,711	5,408 (△1,136)	4,992 (△1,175)	10,400 (△2,311)
売上高合計 (前年比増減)	63,798	60,990	124,788	73,680 (+9,882)	61,820 (+830)	135,500 (+10,712)

単位:百万円

	05年度 上期実績	05年度 下期実績	05年度 通期実績	06年度 上期実績	06年度 下期予想	06年度 通期予想
工業用マシン (前年比増減)	4,972	4,577	9,549	5,714 (+742)	4,486 (△91)	10,200 (+651)
産業機器 (前年比増減)	452	559	1,011	1,735 (+1,283)	1,465 (+906)	3,200 (+2,189)
家庭用マシン (前年比増減)	119	△195	△76	△513 (△633)	△486 (△291)	△1,000 (△924)
電子・精密機器 (前年比増減)	794	938	1,732	1,120 (+326)	780 (△158)	1,900 (+168)
その他・消去 (前年比増減)	△343	△609	△951	△927 (△584)	△873 (△264)	△1,800 (△849)
営業利益合計 (前年比増減)	5,995	5,271	11,266	7,128 (+1,133)	5,372 (+101)	12,500 (+1,234)

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 総合企画部 担当：山田^{やまだ}

TEL :03-3480-1742 FAX :03-3480-9734

ホームページURL: <http://www.juki.co.jp/>